

安全・安心のまち創り「生きる、備える、関わる」を学ぶ

座間市とNPO法人ざま災害ボランティアネットワーク(ZSVN)は、座間市協働事業の一環としてNPO法人と行政が持っている力を出しあって「共創」の実現に取り組む活動を行っています。

この取り組みは、座間市に災害が来た時、直後の72時間は、常日頃からの市民一人々の「備え」と、「小さな助け合い力」である「隣助」でつながって「自助」・「隣助」の力で生き延びるという行動を普及する取り組みです。その目的は、災害からの被害を最小で抑え、一日も早い、復旧・復興の作業が行われることを目指しています。

座間市は、2012年に全国自治体に先駆けて、「シェイクアウト訓練」を導入しました。毎年々、積み上げてきた訓練の中で、得られた教訓は「生き残らなければ何も始まらない」ということでした。

この言葉は、ZSVNの提言を座間市が採用し、今では座間市の危機管理(減災・災害対応・防犯・安全など)の基本的な「キーワード」として定着しています。令和5年度(2023年)の協働事業のロードマップがまとまりました。今年度も、市民の皆様のお声を取り入れた企画を展開します。

今年度は、「多様性社会の実現に向けて」災害を中心に、女性、子ども、災害弱者、外国人などの課題を市民の皆様が共に考えること、自ら考えて災害のことをイメージできるように組み立てました。ぜひ、多数の市民、団体、事業所の方々に参加を呼び

コード	何をやるのかな?	いつ?	募集人員	開始時刻	終了時刻	会場
1	「みんなで、本当の災害を考えよう」	7月29日(土)	24名	9:15	12:00	座間市消防本部4階
	災害が起きる前、起きた時、その後について考えるワークショップ					
2-1	減災・防災まち歩き 1 (DIG)	8月19日(土)	20名	10:00	16:00	相模が丘コミセン
	自分の住んでいる「まち」を地図で読み込み考えて、実際に歩いて災害を考える					
2-2	減災・防災まち歩き 2 (DIG)	9月30日(土)	20名	10:00	16:00	四谷コミセン
	自分の住んでいる「まち」を地図で読み込み考えて、実際に歩いて災害を考える					
3	体験型減災・災害対応訓練	10月28日(土)	100名	9:30	12:30	アガベセンター(予)
	災害の時弱い人たちに対して私たちは何ができるのか、そのための何を備えるかを体験をする					
4	多様性社会と災害を考える	11月25日(土)	150名	10:00	12:00	座間市消防本部4階
	多様性社会の中で女性、災害弱者の災害の課題を考える (外部講師予定)					
5-1	避難所を考える(座学)	12月〇日(〇)	30名	15:00	17:00	ハーモニーホール会議室
	職員・運営委員長として災害避難所の課題を学ぶ(避難所の目的・機能・受入)					
5-2	避難所を考える(実技)	令和6年1月〇日	30名	16:00	20:00	〇〇〇学校体育館
	多様性社会の中の災害避難所の開設と初動期の運営					
6	第15回 ぼうさい・かふえ	令和6年1/15-1/19	400名	10:00	16:00	座間市役所1階
	淹れたてのコーヒーなどを飲みながら災害のことを話そう!!					
★座間市いっせい防災行動訓練(座間市・ZSVN協働事業)						
Plan	シェイクアウト Kickoff講演会	10月26日	300名	14:00	16:30	ハーモニーホール
	「災害とお金の話」岡本 正弁護士 / 座間市のレガシー「シェイクアウト訓練とは」NPO ZSVN					
Do	座間市いっせい防災行動訓練	令和6年1月23日	55000	11:00		その時・その場所で
	第12回 座間市いっせい防災行動訓練 (Shake Outプラス・ワン in ZAMA 2024)					
See	シェイクアウト訓練成果報告会	令和6年3月中	100名	未定		
	第12回 シェイクアウト訓練成果報告と課題 令和6年度に向けての取り組み					

★ 令和5年9月17日・18日「ぼうさいこくたい2023」が横浜国立大学で開催されます。

★ざま災害ボランティアネットワークも出展します。